

あっと!@同窓会

No.2

新入生歓迎号 編集・発行

島根大学教育学部同窓会

〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学教育学部内

E-mail e-dousoukai@edu.shimane-u.ac.jp

<http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/edu/index.html>

<http://www.shimane-u.ac.jp/>

ご入学おめでとう ございます

島根大学教育学部にご入学おめでとうございます。教育学部同窓会では学生の皆さんを準会員としてお迎えし、教育現場を中心として各界で活躍する卒業生と密接な交流を交わしながら学習の実を深めていただけるよう多彩な活動と支援の企画を用意しています。同じ学び舎で人

同窓会準会員としてのご入会を歓迎します

間形成の一時期を共に過ごす縁を大切にして行きたいと願っています。

同窓会って？

島根大学教育学部同窓会長
田中 瑩一

私たちの同窓会は①会員の連絡と親睦に関すること、②島根大学教育学部の振興、充実に関すること、③教育・文化振興に関する調査と研究及び啓発等を中心に活動しています。

①の目的を達成するために各地に支部があります。県内には各郡、市単位に、県外には東京、横浜、大阪、岡山など主な都市に。学生時代の実地研修や、社会見学、あるいは就職活動等に



島大ビビットひろば(学生主催の子ども講座)

あたって、お役に立ちたいと願っています。

②の活動としては同窓の人脈を生かした学部での教育・研究活動への協力や、学部発展のための寄付活動等に成果を上げてきています。

③の活動としては、これまで全県規模の文化講演会や、支部単位の講演会への助成などを行い、着実な社会貢献を積み重ねてきました。

皆さん、同窓会の一員として一緒に活動していきましょう。



子どもの工作活動を支援



教育実習のひとコマ

同窓通信

小学校の教員として

江津支部 佐堂 典子



授業中の佐堂さん

四月、これから始まる生活への期待と不安を胸に、始業式の日を迎えました。三十三人のキラキラした目がいつせいにこちらを向いている中、自分が教室の前に立って子ども達に話をしていくことが、何だか信じられないような気分でした。「ついに先生になれたんだ!」という喜び以上に、「これから先生としてやっていかなければならない」というプレッシャー

と不安が重くのしかかってきたのを覚えています。初めのうちは、毎日の授業を考えること、提出物をチェックすること、それだけで精一杯の毎日でした。些細な問題でさえ、どう対応するか分からず、考え込むこともありました。そんな時、話を聞いて下さったり、時間を割いて一緒に解決の方法を考えて下さったりする同僚の先生方の存在はとても心強く、本当にありがたいものでした。

教職に就いて半年、ようやく、少しずつではありますが、仕事に見出しを持つことができるようになりました。(中略) 自分の話を聞いてほしいと思っている子どもは、とても多いということが分かってきました。そこで、子どもの話や訴えに、まずは共感することを意識しながら、日々子ども達と接するようになっています。そして何よりも、子ども一人一人のキラリと光る良い所をたくさん見つけ、認めていくことのできる教師でありたいと思っています。

六ヶ月・西ノ島町へ

学芸大学

島根支部 須山 健太

(前略) 私は、鳥取県の出身ですが、隠岐地域限定の採用枠で採用してい

いただきました。受験のきっかけは、一〇〇〇時間体験であった隠岐のプログラムでした。隠岐という地域の温かさや、子どもたちの元気な姿を見て、ここで教員をしたい、隠岐の教育の良いところを広めていきたいと考えるようになりました。

町中での挨拶や行事等に積極的に参加して下さる地域の方々、私の原動力になっています。また、そのことが生徒達の郷土への想いを育てているのだと思います。(中略)

また、本校にもそのような地域を大事にした活動が多くあります。特に十一月に控えているふるさとに題材を求め、脚本も教員が自作して取り組む「ふるさと演劇」は、生徒達に西ノ島の良さを伝える素晴らしい活動だと思っています。(後略)

クワツクしてね!

■ 教育学部同窓会ホームページ
<http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/edu/index.html>

または
 ■ 島根大学トップページ
<http://www.shimane-u.ac.jp/>

から「卒業生のみなさま」→「教育学部同窓会」と進んでお入りください。

